

いざ往かん！

太田東高校 キャリア教育部
平成30年11月2日(金)発行 No. 4

◎「メタ認知」：自分を客観的に見つめる、もう1人の自分

たとえば、「何時間勉強できるはずのところ、実際に何時間の学習をしていますか。それは充実していて、効果の上がる方法ですか。」という問いに答えるのは、「タイムマネジメント（時間管理）」というメタ認知です。「メモは後で見返すためだけでなく、分かったことを紙に教えるつもりで書くのです。」は、理解度を測るメタ認知を意図しています。「みらい学」などで行なわれる「振り返り」もメタ認知ですね。メタ認知は、社会に出てからも重要視される概念ですので、今から日常的に実践してもらいたいと思います。

◎進路室の志望校判定パソコン(生徒用)がまもなく稼働します

利用時間帯は昼休みか放課後です。インターネットには接続していません。

入試科目や科目の比重は大学によって異なるので、**同じ得点でも大学によって判定が変わってきます**。いろいろな大学で「Compass」を試みましょう。また、どの科目の得点がどれくらい伸びれば合格するのか、という目安を立てることもできます。新たなデータが入って使用できる状態になったら再度、連絡します。

志望校判定システム

Compass の使用方法について

1. 進路室の奥にある PC が利用可
2. PC の電源を ON
3. guest でログイン
4. Compass のアイコンをダブルクリック
細かい操作手順は【別紙参照】
5. 最後は必ず電源 OFF

【注意】

- 【成績確認】および【志望校検索】以外で使わないこと
- 勝手なソフト等のインストールは厳禁
- 利用マナーが悪い場合は使用禁止

◎進路室の「赤本」で実力を鍛えましょう！

赤本は1冊1大学の過去問題集です。入試は大学によって形式や内容に差があるので、過去問の研究は大切です。第1志望の赤本は自分で購入すべきですが、同傾

向・同レベル他大学、または同学科他大学の問題を解いてみるのも勉強になります。試しに、1, 2年次生にも使ってもらいたいと思います。貸出は3日間、利用簿への記入が必要です。不明な点は進路担当の先生に尋ねてください。

◎今後は、インターネットで出願する時代になります

大学受験の「出願」が、書類のみによるものから「インターネット出願 (Web 出願)」に変わります。その概略を右欄に示しました。24時間いつでも出願できたり、コンビニで受験料を支払ったりできる一方で、コンピュータとプリンターが必要です。また、多くの場合、②「登録」段階でメールアドレスを登録することになります。そのような環境が家庭に整っていない場合に備えて、以下のような対策を取ります。

Web 出願の概略

- ① Web 出願サイトにアクセス
- ② 出願内容の登録
- ③ 検定料の支払い
- ④ 必要書類の印刷と郵送
- ⑤ 受験票の到着

◎図書館にパソコンを4台設置 (メールの送受信は不可)

図書館のコンピュータとプリンターを使うことで、登録と印刷は学校でできるようになります。ただしセキュリティ上の理由でメールの送受信を行うことはできません。大学からのメールを受信できる設定にする必要はありますが、みなさんが所有しているスマホや携帯電話のメールを利用することはできると考えられます。

図書館のコンピュータは、昼休みや放課後に、原則として司書の先生か正副担任の先生の管理の下で使用することができます。使用目的は「大学・専門学校調べ」と「出願」のみです。印刷は「出願」するときに限って行うことができます。基本的に3年次生優先ですが、もちろん1, 2年次生も大学調べに利用できます。

◎大学独自の奨学金を利用しましょう (受付時期になりました！)

11月になると、私立大学の「予約型奨学金」の受付が始まります。これは各私大独自の給付型奨学金 (返済不要)で、出願や受験のずっと以前である秋の段階で決定されるものです。みなさんの志望する大学がこのような制度を持っているかどうか確認してみてください。また、奨学金制度ではなく、特待生試験を実施してその合格者に国公立大学と同程度になるよう授業料免除を与える私立大学もあります。また、国公立大学には、家庭の収入に応じてその授業料を半額もしくは全額免除する制度があることも覚えておいてください。